



地域の活性化と暮らしやすい地域づくりに向けた取り組み

福井県JAグループでは、地域の活性化と、皆さまが暮らしやすい地域づくりに向けた取り組みをすすめています。具体的には、総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮や、JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化、行政と連携した地方創生の取り組みなどを実施しています。

地域の活性化に向けた取り組み事例

1. 食農教育の取り組み

管内の親子を対象として、安全・安心な「食」を伝え、また、「食」を通じて農業の大切さを伝えるため、体験農業や地元産の農産物を活用した料理教室、出前授業等を行っています。



2. 健康づくり活動の取り組み

JA組合員・家族や地域住民の健康に対する正しい知識の普及と意識の向上をはかるため、健康教室や健康相談会等を行っています。



3. 年金・相続無料相談会の開催

組合員の皆さまの年金や相続税に関する疑問を解決するため、社会保険労務士や税理士をお呼びし、無料の相談会やセミナーを開催しています。



准組合員制度について

政府は、JAが農業者の協同組合であることから、「准組合員の事業利用について、正組合員の事業利用等の関係で、そのあり方を検討する」こととしています。



現在、地域住民の皆さまにも准組合員になっていただき、JA事業をご利用いただいております。事業の効率化やコスト低減につながるとともに、JAの経営が安定し、地域に必要な生活サービスの維持が可能となるなど、准組合員の皆さまのご利用は、正組合員の皆さまにとってもメリットがあります。

引き続き、正組合員と准組合員とで、JA事業を通じて農業とくらしを支え合うJAづくりに努めてまいります。

ひと目でお伝えする3つのマーク

福井県JAグループが実践する自己改革を皆さまに分かりやすく、3つに分けて表示いたします。

- 『農業者の所得増大』
- 『地域の活性化』
- 『経営基盤の確立』



組合員などの皆様に対して県全体に共通する情報をお伝えしてまいります。

たべる力を、つくる力に。